

第10回 姫路駅北駅前広場整備推進会議 議事概要

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)		市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
				<p>・姫路市の主催により、11月29日に専門家会議を、12月7日に市民ワークショップを開催し、大手前通りのあり方について議論いただいた。本日は、専門家や市民の意見を参考にし、歩行者デッキのルートおよび大手前通りの一般車の通行制限について議論いただきたい。</p>
	歩行者デッキ	<p>・デッキと12街区の接続について、キャスパの入口付近のデッキ幅を広げるだけでは不十分ではないか。</p>	⇒	<p>・詳細については、今後検討していきたい。</p>
<p>・D案が良いと思うが、キャスパからコアゾーンへのアクセスなど2Fの動線について、検討すべきである。 ・歩行者デッキの階段やエスカレーターにも屋根を付けてもらいたい。</p>		⇒		
<p>・B案とD案の折衷案が良い。2Fレベルの動線については、山陽電鉄や12街区、コアゾーンへのアクセスを考慮する必要があるが、人工地盤のような空間があれば、2Fレベルに面的な広がり生まれる。</p>		⇒	<p>・デッキと新駅ビルを接続し、2Fレベルでの回遊性を持たせることは、JRにもメリットがあることなので、JRと協議し検討していきたい。 ・コアゾーンへのアクセスの必要性については認識しているが、詳細については、今後検討していきたい</p>	
<p>・駅前広場の使い勝手を良くするため、歩行者デッキの昇降施設の位置を工夫するべきではないか。 ・西側自由通路から歩行者デッキへの接続が良くないのではないか。</p>		⇒	<p>・歩行者デッキの配置にあたっては、現在の歩道橋の機能回復や、交通機関の乗換えの利便性、中央コンコース前からの姫路城の眺望の確保などに配慮し、検討している。</p>	
<p>・山陽電鉄から西側自由通路を通り駅南方面へ行く人は非常に多いので、デッキと西側自由通路の接続は十分に検討する必要がある。</p>		⇒	<p>・現在の歩行者デッキの機能を回復することは必要であると考えている。</p>	
			<p>・デッキのルートについては、D案を基本に、今後専門家などの意見を参考にしながら、詳細について検討していきたい。</p>	
	大手前通りの一般車の通行制限			<p>・専門家会議や市民ワークショップでの意見を踏まえ、本日は、A案およびB1案、B2案について議論いただきたい。</p>

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)		市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	大手前通りの 一般車の通行 制限	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会では、推進会議での意見を尊重している。駅前の活性化のために、専門家会議での意見を参考にし、複数の案に対する考えをお聞きしたい。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・Eclat 大手前通り検討委員会とは、どのような組織で、これまでどのような検討をしたのか 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・大手前通りのリニューアルについて検討を行っている市庁内の組織であり、現在とりまとめを行っているところである。
		<ul style="list-style-type: none"> ・A案が良いと思うが、短所として中央の歩道空間に人が入ると出られないということがあげられている。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家会議の意見としては、大手前通りは、ピーク時間帯に、バスとタクシーの通行量が非常に多いため、自由に横断ができないとのことであった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線を再編して、バスの通行量を減らせば、A案でも横断しやすくなるのではないか。 ・A案は、工夫次第では市民や観光客に喜ばれるものになる。 ↓ ・現在、バス路線の再編を検討している。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・A案は、乱横断が発生する可能性があり、バスの運行上危険であるため、避けてもらいたい。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・A案は、歩行者の安全のため、横断箇所を一箇所にして、乱横断が出来ないようにするべきである。 ・乱横断を防止するとともに、環境や景観に配慮するため、中央分離帯にせせらぎをもうけること等が良いのではないか。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・大手前通りの東西の商店街に公平感を持たせるのが良いと思うが、B2案にするならば、沿道の地権者に意見を聞くべきではないか。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道の地権者には、市民ワークショップの案内を送付するなど、意見を聞く機会をもうけている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・十二所前線から駅までの区間ならば、B2案が良い。A案は乱横断が生じるので無理である。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・B2案の歩道幅は現状と比べてどの程度広がるのか。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・B2案の歩道幅は、西側で約15～18m、東側で約20～22mであり、両側とも現状よりも広がる。

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	大手前通りの 一般車の通行 制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 2 案は、大手前通りの両側の東西の商店街に不公平感を与えるとのことであるが、駅前広場の基本レイアウトの最大の長所は、姫路駅から横断歩道を渡らずにお城方面へ行くことが出来ることであり、それを効果的に実現するためには、東側歩道を広げる B 2 案が良いのではないか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ B 2 案のように、十二所前線以南の車道の中心をずらすならば、十二所前線以北の姫路城の眺望について十分に検討すべきである。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大手前通りとサンクンガーデンの連続性を考えると、東側の歩道を広く取る B 2 案が良い。ただし歩道を広げても空間の利活用を十分考えなければ、広い空間だけが残る結果となる。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者、自転車、賑わい空間に区分し、道路使用許可が出やすいようにするためには、一定以上の歩道幅が確保されている B 2 案が良いのではないか。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場や大手前通りの歩道空間において例えば朝市を開催するなど、駅前の活性化のためにどのようなことが出来るのかを具体的に検討すべきである。 		⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場の管理は、条例に基づく管理を検討している。行政主導による管理ではなく、市民の意見を聞きながら、行政と市民の共同による管理を考えている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場や大手前通りは法令上道路であり、歩行者空間をいくら広く確保しても、海外の事例のような屋台やミニコンサートなどのイベントをすることは出来ないのではないか。イベント等が出来ない空間を確保しても意味がない。 		⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、警察などの関係機関と協議し、検討していきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的な事例を見ても、公園街路という概念はないと思うが、静岡の事例では、道路の中央の幅 1 5 m 程度の空間でイベントを行っている。 		⇒	
<ul style="list-style-type: none"> ・ B 1、B 2 案のどちらでも良い。 ・ 大手前通りは道路であるため、使用の際には必ず警察の使用許可が必要になる。使用を前提とするならば、計画段階から自動車、歩行者、自転車を区分し、許可しやすい計画にするべきである。 		⇒	

No	項 目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)		市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前にタクシーやバスの乗降場がなくてもよいのではないか 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場には交通結節機能が重要であり、バス・タクシー乗降場は駅前にあるべきだと考えている